

～服薬時間に注意が必要な薬（食事との関係）～

スルホニル尿素（SU）薬

アマリール(グリヒピト)、ダオニール・オイグルコン(グリベンクラミド)、グリミクロン(グリクラジド)はたらき: すい臓からのインスリンの分泌を促進して血糖を下げます。食事に関係なく血糖を下げます。

注意: 食事をとらないと低血糖を起こす可能性があります。



α -グルコシダーゼ阻害薬（ α -GI）

ベイスン(ボグリボース)、グルコバイ(アカルボース)

はたらき: α -グルコシダーゼ(酵素)の働きを阻害することで糖質の分解を抑えて、ブドウ糖の吸収を遅らせることで食後の血糖値の上昇をゆるやかにして、食後高血糖になりにくくします。

注意: 食後では効果がありません。必ず食直前に服薬します。

低血糖が起こった場合には必ずブドウ糖を摂ってください
(砂糖では吸収が阻害され改善が遅れます)。



速効型インスリン分泌促進薬（グリニド薬）

グルファスト(ミチグリニド)、シュアポスト(レパグリニド)、ナテグリニド(スターシス)

はたらき: インスリンをすばやく分泌させることで食後高血糖を改善します。

注意: 必ず毎食直前に服薬します。服薬後、薬の効果がみられるのがたいへん速やかな薬剤のため、**服薬後は10分以内に食事をとってください。**食事を始めるまでに時間がかかると低血糖を起こす可能性があります。

食事療法・運動療法に加え、薬を上手く機能させるには、決められた服薬量、服薬時間を守ることが大切です。必ず医師の指示に従うようにしましょう。

服薬している薬について少しでも不安や疑問があれば、遠慮せずに主治医または薬剤師に相談するようにしましょう。安心して、信頼して薬が飲めることも、治療の継続と成功への大切な要素であることを知っておきましょう。